

日本の女性史にかがやく群馬ゆかりの先駆者たち 関連資料展示リスト

展示期間:平成22年3月9日～

群馬県立図書館 調査相談室

各分野で新しい道を開拓した、群馬ゆかりの女性の中から、以下の七人の関連資料を展示します。

津久井磯子(磯)略歴 助産師(産婆)の質と地位向上に尽くし、評価を一新させた先駆者

文政12(1829)年—明治43(1910)年(「群馬県人名大事典」「郷土歴史人物事典群馬」では1838-1919)。上野国群馬郡青梨子村清里(前橋市)の元水戸藩士関根紋太夫の次女に生まれ、父に和漢学を学ぶ。江戸の水戸藩邸に仕え、伯父に習った鎖鎌が後に往診時の護身に役立つ。24歳で前橋の産科医津久井文譲の後妻となる。『産論』等の専門書を読みながら夫を師として研鑽を重ね、産婆として独立。出産時の事故が多かった時代に、専門知識と経験に裏打ちされた、産科医も及ばぬ的確な技術で評判を上げる。明治6年に鑑札制となり、東京の産婆教授所で免許を取得。貧しい人々からは診薬の報酬を受けず、内弟子をとり、後に女医第三号となる高橋瑞子等を育てる。明治21年、推されて「群馬産婆会」の初代会長となる。私費で「産婆講習所」を開設し、医師を講師として解剖・生理学などを教授し、保健衛生の意識向上に生涯を捧げた。

高橋瑞子略歴 津久井磯に師事し、日本の女医第三号となる。

嘉永5(1852)年—昭和2(1927)年。三河国(愛知県幡豆郡)の西尾藩士高橋驥太郎の三女。早くに両親を亡くし長兄夫婦に育てられる。その後東京などで暮らす家庭に恵まれず、手に職をつけるため明治13年津久井磯子の助手となり産婆技術を習得。津久井の給費で浅草の学校で産婆免許を取得。その後大阪病院に勤務し、内科、外科、産婦人科を学び前橋に戻るが、向学心が強く医学を志す。医学校が女子禁制の時代に、瑞子の熱意で門戸を開いた済生学舎と順天堂で学び、明治20年医術開業試験に合格。公許女医第三号となり、荻野吟子、生沢クノと共に日本女医の道を開いた。37歳で日本橋に開業した医院は大いに流行り、更に40歳でドイツへ留学、ベルリン大学で産婦人科学を修めている。大正7年、瑞子は津久井磯子への感謝を込め、前橋の隆興寺境内に津久井孺人遺徳碑を建立している。

村松志保子略歴 我が国初の助産施設を開業。助産師(産婆)学校も創設し、自立的博愛的教育を行う。

安政元(1854)年—明治43(1910)年(「理系の扉を開いた日本の女性たち」では1856-1922)。上野国沼田藩医村松玄庵の長女として江戸上屋敷に生まれる。幼時から孔子、孟子を学び、藩主の奥方に寵遇される。父から医学や漢学の手ほどきを受け、19歳で藩医と結婚。医術の研鑽を続けるが、妹や甥をお産で亡くし産婆学を志す。明治14年に済生学舎を卒業し、29歳で我が国初の助産施設「安生堂医院」を開業。特設の施療室で貧しい妊婦を援け、福祉の魁となる。その後淑女館や産婆学校も設立し、教養豊かな産婆を育成。門弟たちにより谷中霊園に碑が建立されている。

大沢豊子略歴 女性新聞記者の草分け。日本初の女性速記者、プロデューサー。

明治6(1873)年—昭和12(1937)年。館林藩士大沢師容(もろかた)の次女。東京の速記塾で学び、教育家下田歌子の推挙により、25歳で福澤諭吉の創設した時事新報社に速記者として入社。女性への偏見と無理解の中で忍耐強く働き、数年後男性社員に劣らぬ能力を認められて記者に転じ、以後25年間勤務する。その後、創立間もない東京放送協会(現NHK)に招かれ、番組編成プロデューサーとして、女性講師の稿料引き上げ、女性の意識向上に向けた番組作り、家庭婦人の生活時間に合わせた番組編成など、働く女性の地位向上のために尽くした。

原口鶴子略歴 産業心理学の先駆—日本女性初の博士号取得者

明治19(1886)年—大正4(1915)年。心理学者。北甘楽郡一ノ宮(富岡市)の農家新井家に生まれる。日本女子大学へ進み、高崎市出身の科学的心理学の確立者松本亦太郎について心理学を修める。明治40年米国コロンビア大学に留学し、ソーンダイク等に師事して実験教育学、一般心理学を専攻。明治45年に学位請求論文「精神的疲労」を提出し、日本女性として初めて博士号(Ph.D.)を取得。在米中に後の早稲田大学教授原口竹次郎と結婚。帰国後、学位論文を翻訳改訂増補した『心的作業および疲労の研究』、留学中の経験を綴った『楽しき思ひ出』などを執筆。講演や実験研究生活の中、30歳で病死。

美智子皇后略歴 児童書や読書への造詣も深い民間初のお后

昭和9(1934)年、館林市出身の正田英三郎(日清製粉創業者正田貞一郎の三男)・富美夫妻の長女として東京に生まれる。昭和20年、疎開のため約1年間を館林で過ごす。昭和32年、清心女子大学を優秀な成績で卒業。この年の夏、軽井沢で皇太子と出会い、昭和34年正式に婚約し4月に結婚。民間人初の皇太子妃の誕生でミッチーブームが起こる。2男1女の母親として、皇室の伝統をやぶり自分の手で育てる。昭和64年皇后。日本赤十字社名誉総裁。国際児童図書評議会(IBBY)の世界大会等でも講演やスピーチをしており、1998年インドのニューデリー大会用に録画されたビデオ(「子供の本を通しての平和—子供時代の読書の思い出—」)がNHKで放映され、大きな反響を呼んだ。

向井千秋略歴 日本人初の女性宇宙飛行士、医師

昭和27(1952)年、館林の内藤家の長女に生まれる。慶應義塾大学医学部を卒業し、大学病院の心臓外科医局に勤務。昭和58年、宿直明けの朝刊で目にした旧宇宙開発事業団の「宇宙飛行士募集」の記事をきっかけに応募し、昭和60年、毛利衛、土井隆雄とともに正式に選出される。翌年同じ病院の病理医向井万起男と結婚。平成6年にスペースシャトル・コロンビア号で、平成10年にはディスカバリー号でNASAのミッションに参加。平成16年、国際宇宙大学客員教授。平成19年、宇宙航空研究開発機構宇宙医学生物学研究室長に就任。

【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

- 『上毛及上毛人』豊国義孝編 上毛郷土史研究会 昭和9年刊の復刻版 上毛新聞社 1974 K005 J69.3 3(20) ○
第210号(昭和9年)p.49-51 本県産婆界の白眉津久井磯老刀自 内田周平
第212号(昭和9年)p.45-47 本邦女医の鼻祖高橋瑞子彰功碑銘 井上角五郎
第275号(昭和15年)p.24-25 鶴子(原口) 女流著作解題に見る上毛人 佐藤雲外
- 『橋をかける 子供時代の読書の思い出』美智子[著] すえもりブックス 1998 欧文書名:Building bridges
英文併記 019.5 ナ8Y ○
- 『パーゼルより 子どもと本を結ぶ人たちへ』美智子[著] すえもりブックス 2003 019.5 ニ31 子ども室 ○
2002年、スイスのパーゼル市で開かれた国際児童図書評議会世界大会での皇后さまのスピーチ(日本語と英語)
- 『群馬県百科事典』上毛新聞社 1979 K030 G94 ○
p.582 高橋瑞子 p.630 津久井磯
- 『群馬新百科事典 The gunma neo encyclopedia』上毛新聞社 2008 K030 ナ83 ○
p.487 高橋瑞子 p.527 津久井磯
- 『女性記者 新聞に生きた女たち(Sekaihisso seminar)』春原昭彦[ほか]編著 世界思想社 1994 070.1 ナ41 ○
p.15 初期の女性記者
- 『女のくせに 草分けの女性新聞記者たち』江刺昭子著 文化出版局 1985 070.2 ト56 ○
p.88-108 女性記者哀史 大沢豊子
- 『群馬県史』第3巻 群馬県教育会編 群馬県 1927 K211 G94 (3) ○
p.472-474 津久井磯子
- 『前橋アラカルト 都市づくり100年』市川克人著 前橋市観光協会 1992 K222 ナ2Z ○
p.156-157 津久井磯 助産婦の先覚者として広く活躍
- 『上野人物志』岡部福蔵著 上毛郷土史研究会 1925 K281 O37 ○
p.465-466 津久井磯子
- 『日本女性肖像大事典』永原和子監修 日本図書センター 1995 281.03R ナ5Y
p.25 大沢豊子 p.74 高橋瑞子 p.81 津久井磯子 p.104 原口鶴子
- 『日本女性人名辞典』日本図書センター 1993 281.03R ナ36
p.195 大沢豊子 p.638 高橋瑞子 p.705-706 津久井磯子 p.847 原口鶴子 p.1029 村松しほ子
- 『女の2000年 日本の歴史を築いた女性たち』女姓史研究室著 島出版 1980 281.09 ト0X ○
p.196-197 高橋瑞子
- 『先駆者たちの肖像 明日を拓いた女性たち』東京女性財団編著 東京女性財団 1994 281.09 ナ47 ○
P.28-29 高橋瑞子(医師) p.70-71 大沢豊子(速記者、記者、ディレクター) p.112-113 原口鶴子(心理学者、
日本女性初の博士号取得者)
- 『郷土歴史人物事典群馬』萩原進著 第一法規 1978 K281.3 ナ8X ○
p.109 津久井磯子 p.177 原口鶴子 p.226 皇太子妃美智子
- 『上州の顔 歳時記』〔東京新聞編〕東京新聞前橋支局 1981 K281.3 ト1Z ○
p.112 津久井磯子 p.182 原口鶴子
- 『群馬県人名大事典』上毛新聞社 1982 K281.3 ト2Y ○
p.308 高橋瑞子 p.345 津久井磯 p.503 美智子妃殿下
- 『群馬県先哲偉人伝』群馬県国民精神総動員事務局編 群馬県国民精神総動員事務局 1940 K281.4 G94 ○
p.157 津久井磯子
- 『郷土史にかがやく人々』第3集 群馬県青少年育成推進会議編 群馬県 1970 K281.4 G94.1 (3) ○
p.65-76 津久井磯子 略年譜あり
- 『近代群馬の女性たち』(みやま文庫40) 大学婦人協会群馬支部編 みやま文庫 1971 K281.4 Ki42.1 ○
p.56-81 津久井磯子 遺徳碑・生立ち・結婚・逢原堂・産婆として・夫文讓の死・女医高橋瑞子・群馬産婆会・孫とともに
- 『上毛女人』(上毛偉人叢書第5集) 小滝和子[著] 群馬文化協会 1950 K281.4 Ko92 ○
p.107-120 津久井磯子
- 『郷土に光をかけた人々』1巻 群馬県教育委員会編 群馬県教育委員会 1985 K281.4 ト53 (1) ○
p.127-132 お産婆さんの先生として活躍した 津久井磯 略歴あり
- 『時代の鼓動を駆け抜けた人たち』石村澄江著 あさを社 2008 K.281.4 ナ83 ○
p.81-84 「群馬産婆会」初代会長 津久井磯子 p.117-119 日本女医三号の気炎 高橋瑞子
p.124-126 女性速記者の草分け 大沢豊子 p.253-255 わが国産院の先駆者 村松志保子
- 『おはなし高崎人物伝』吉永哲郎著 高崎市市長公室広報公聴課編 高崎市 1997 K284.2 ナ72 ○
p.87-89 原口鶴子 一産業心理学の先駆者一
- 『皇后陛下美智子さま』PHP研究所編 PHP研究所 1994 288.4 ナ4X ○

- 『祈り美智子皇后』 宮原安春著 文芸春秋 1999 288.44 ナ94 ○
- 『あゆみ 皇后陛下お言葉集』 皇后[述] 宮内庁侍従職監修 海竜社 2005 288.44 ニ5X ○
- 『皇后さまと子どもたち』 宮内庁侍従職監修 毎日新聞社 2008 288.44 ニ8X ○
- 『美智子妃誕生と昭和の記憶 プリンセスに密着した女性カメラマンの一〇〇〇日』 清宮由美子著 講談社 2008 288.44 ニ8Y ○
- 『津久井磯子とそのあとさき 群馬県産婆界の草分け』 井田安雄編 K289.41 Ts68 ナ1X
- 『楽しき思い出』 原口鶴子著 春秋社書店 1915 K289.64 H32 ス55
- 『原口鶴子 女性心理学者の先駆』 荻野いずみ編著 銀河書房 1983 K289.63 H32 ト35 ○
原口鶴子の肖像あり 英文併記 p.248~262:原口鶴子年譜・関係資料・参考文献
- 『娘は宇宙飛行士 向井千秋の母に学ぶ生き方・育て方』 浦野友子著 主婦の友社 1999 K289.72 N29 ナ9Z
- 『群馬県女性史話』 萩原進著 西毛新聞社 1965 K367 H14 ○
p.76 津久井磯子
- 『近代日本の女性史』 9 学問・教育の道ひらく 集英社 1981 367.21 ト07 (9) ○
p.10-48 高橋瑞子 肖像あり
- 『人物日本の女性史』 12 教育・文学への黎明 集英社 1978 E-06508(住谷文庫)
p.228-235 吉岡弥生の[女医となる]の項に、高橋瑞子に関する記述あり
- 『近代史を拓いた女性たち 日本女子大学に学んだ人たち』 青木生子著 講談社 1990 367.21 ナ06 ○
p.250-288 原口鶴子・高良とみ
- 『女性解放運動のさきがけ 新婦人協会の研究』(女性の歴史研究会会誌3) 特集・花柳病男子結婚制限法制定の運動 女性の歴史研究会著 女性の歴史研究会 2003 367.21 ニ39 ○
p.133-139 大澤豊子—時事新報記者として報道面で協会を応援— 加瀬厚子
- 『群馬県立県民健康科学大学紀要』 第4巻 2009年3月 群馬県立県民健康科学大学 K377 +G94.6 (4) ○
p.1-11 明治期における群馬県の産婆養成のはじまり—津久井磯子の個人史から— 佐々木かほる
- 『理系の扉を開いた日本の女性たち ゆかりの地を訪ねて』 西條敏美著 新泉社 2009 402.106 ニ96 ○
p.44-50 鎖鎌を携えて夜半一人で往診した先駆的助産師 津久井磯子 p.69-77 公許女医登録第三号となった女医 高橋瑞子 p.78-84 産婆学校(助産師学校)を創設し、自立的博愛的教育を行った助産師 村松志保子 肖像あり
- 『科学する心 日本の女性科学者たち』(B&Tブックス) 岩男壽美子編 原ひろ子編 日刊工業新聞社 2007 402.106 ニ7Y ○
p.99-108 職場は宇宙 向井千秋 —宇宙飛行士・医学—
- 『群馬の医史』 丸山清康著 群馬県医師会 1958 K490.2 Ma59 ○
p.186-188 津久井磯子
- 『向井千秋さん宇宙へ飛翔 群馬県民200万人の夢をのせて』 群馬県 [1994] K538 ナ40
- 『グラフ向井千秋』 上毛新聞社編集局グラフ編集室企画編集 上毛新聞社 1994 K538 ナ4X
- 『向井千秋の宇宙からこんにちは』(東京ブックレット6) 東京新聞科学部編著 東京新聞出版局 1994 538.9 ナ48 ○
- 『向井千秋メダカと飛んだ15日』 読売新聞社編 読売新聞社 1994 538.9 ナ49 ○
- 『向井千秋の宇宙と体のおもしろい関係』 NHK出版編 日本放送出版協会 1995 538.9 ナ52 ○
- 『瀨音 皇后陛下御歌集』 皇后[著] 大東出版社 1997 911.168 KO95 ○
- 『君について行こう 女房は宇宙をめざした』 向井万起男著 講談社 1995 916 MU24 ナ5X ○
- 『女房が宇宙を飛んだ』 向井万起男著 講談社 1998 916 MU24 ナ89 ○

【雑誌】

- 『上州路』 月刊郷土文化誌 関口ふさの編 あさを社
- 第29巻2月号通巻333号 2002.2
「女性速記者の草分け、大沢豊子」 戦いつづけた女たち(四) いしむらすみえ
- 第30巻3月号通巻346号 2003.3
「女性記者の草分け、大沢豊子の最期」 上州著名人の死、そのとき(五) いしむらすみえ
- 第33巻9月号通巻388号 2006.9
p.2 羽ばたいた上州人(十一) わが国産院の先駆者、村松志保子 いしむらすみえ
- 『群馬風土記』 第20巻第2号通巻85号 2006年春季号 特集:群馬史との対話 群馬出版センター[編]
p.26-33 女性新聞記者の草分け 館林出身 大澤豊子 石村澄江

【視聴覚資料】

皇后陛下美智子さま<子供時代の読書の思い出>[ビデオ] 皇后陛下美智子出演 NHKソフトウェア 1999
V37 コ 571214 視聴覚室 ○

日本初・女性宇宙飛行士向井千秋15日間の宇宙滞在記録(朝日ビデオ文庫)[ビデオ] 向井千秋〔ほか〕出演
NHKソフトウェア 1998 V53 ニ 569164 視聴覚室 ○

【インターネット情報資源】

津久井磯子

前橋かるた「うぶ声高く 津久井いそ」 (前橋VYS)

<http://maebashivys.hp.infoseek.co.jp/mkaruta/html/mk-a.html>

有名・無名の前橋人 Part7 津久井磯 (前橋市観光協会「好きですまえばし」Vol.7)

<http://www.maebashi-cvb.com/pamphlet/sukidesu/pdf/1999-7.pdf>

高橋瑞子 (全国名前辞典)

http://fine-vn.com/cat_31/ent_23.html

村松志保子 (村松志保子助産師顕彰会表)

<http://www.aoikuma25.net/jyosannshi-shihoko.html>

<http://www.aoikuma25.net/jyosannshi-shihoko1.html>

群馬が誇るふるさとの先人たち 大沢豊子

(群馬県総合教育センター → G-TaK.NET_BB → 中学校 → 総合的な学習の時間 →

群馬が誇るふるさとの先人たち → 掲載人物一覧 → 大沢豊子)

<http://www2.g-tak.gsn.ed.jp/es/sougou/ijin/00ijinpdf/osawat.pdf>

映画「心理学者 原口鶴子の青春 - 100年前のコロンビア大留学生在が伝えたかったこと」 (テス企画)

監督: 泉悦子

<http://www.sepia.dti.ne.jp/tess/>

皇后美智子 (ウィキペディア:Wikipedia)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9A%87%E5%90%8E%E7%BE%8E%E6%99%BA%E5%AD%90>

向井千秋

JAXAの宇宙飛行士 向井千秋 (宇宙航空研究開発機構: JAXA)

<http://iss.jaxa.jp/astro/mukai/>

向井千秋 (ウィキペディア: Wikipedia)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%90%91%E4%BA%95%E5%8D%83%E7%A7%8B>

向井千秋宇宙飛行士情報 (向井千秋記念子ども科学館)

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/kagakukan/>